

130th
MINYU

130年の信頼 未来への挑戦

福島民友

福島民友新聞 創刊130周年

信頼

～福島民友の
現在地～

Trust - To the Future

福島民友新聞は5月20日、創刊130周年を迎えました。明治、大正、昭和、平成、令和と五つの時代を歩んできた新聞を今も発行し、読者の元へ届けています。創刊130周年特集のテーマは「信頼～福島民友の現在地～」。県民の友として今も読者の信頼に応えられているか？ その「現在地」を探ります。

福島民友新聞にまつわる仕事を、福島民友新聞で連載中の4コママンガ「ももちゃん」の仲間たちが紹介します！

創刊130周年特集には、福島民友新聞で11年間、「ももちゃん」を連載する福島市出身のおだれいこさんが描いたマンガが登場します。マンガを見て新聞の歴史と魅力を感じてください。

新聞にまつわる
仕事いっしょに
みて
みようどんな
お仕事
してるの
かなー

事業

みずウオーク
の様子だね
ようす

スポーツ、
芸術、文化など
いろいろな
イベントを
企画、運営して
います



コース設定や
誘導など事故の
ないように
してんだと

感謝だ
かんしゃ
ない雨の日は
ビニールで
包んでるんだ
ニャー

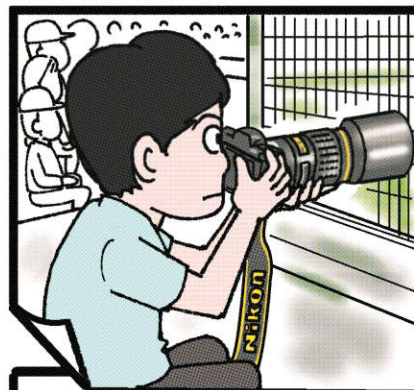
販売



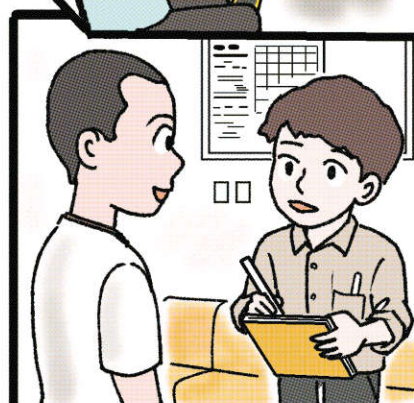
印刷工場から夜間、
県内各地の販売店に
届けられた新聞は、
折り込みチラシを
はさんで
地区ごとに配達します



取材



記者が政治、行政、
スポーツ、事件・事故
などの現場に行き、
写真を撮影して
記事を書きます



高校野球の
取材の様子
だね
ようす

営業

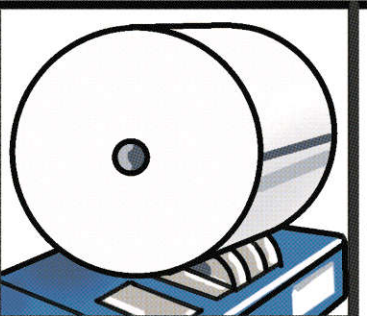
PRの
イベントや
会社の
PRなど
いろいろ
しなきゃ
いけない

会社に
何度でも足を
運んで一緒に
デザインを
考えるん
だね

印刷



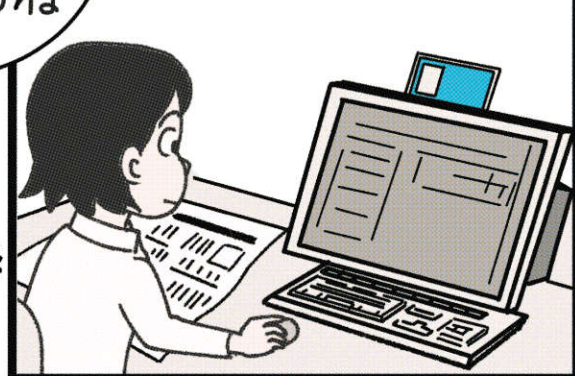
紙面のデータを
印刷工場に送り
巨大なロール紙を
取り付けます
印刷する新聞の
紙面データが入った
アルミ版をセットして
印刷します



編集

イラスト
広告も
入れるのね

読者に大切な情報が
何か伝えるため、
記事や写真の
レイアウトを工夫し
て紙面を作ります

CONTENTS
目次

2,3ページ……EPISODE「思い出は新聞とともに」
あなたと新聞エピソード
4,5ページ……WORKS「仕事×ひと」
福島民友新聞社の各職場

6,7ページ……HISTORY 福島の「今」を見つめて
福島民友新聞の歴史
8,9ページ……PARTNER「共にその先へ」
福島民友新聞を支える関連企業

10ページ……How to read「新聞の歩き方」
福島民友新聞の読み方ガイド
11ページ……How to read「新聞の歩き方」
AI時代だからこそ新聞を読もう

そして、世界へ。

to the world

大和ハウスはこれまで
住まいから、商業施設や物流倉庫、
インフラの開発や街づくりに至るまで
グループ全体の力を結集し、
新たな価値を生み出してきました。
その取り組みは日本だけでなく
アジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、
さらにはアフリカへと広がっています。
70周年を迎える今、
より豊かな暮らしを、もっと世界へ。
それが、私たちの決意です。

思い出は新聞とともに

EPISODE

130th
MINYU

福島市 福島大付属中学校3年
にし 花 璃さん

2023年、みんゆうジュニア情報局こども記者として「こども記者サミット」に参加。こども家庭庁で子どもの意見を政策に反映するよう大臣に提言した。

「編集日記に「推し記者」」
か「判断しにくい。新聞は見出しの大きさが重要で、ひと目で分かる。一番頼れるメディア。民友新聞はレイアウトが見やすく余白があり、グラフィックもあって視覚的に覚えられます。記事で日本のジェンダーギャップ指数ランキングが118位と知り、衝撃を受けました。ごみ排出量が都道府県別でワースト1だった。

た記事を読み、分別を徹底するようにしました。作文が好きで、題材はスクラップした新聞記事から選んでいます。編集日記は毎朝楽しみです。本の話題から、最後は全然違う社会の課題に鋭く切り込むコラムなど構成力に圧倒されます。短い文章の中で見事に伏線を描き、回収してくるところが面白い。今は編集日記に「推し記者」がいます。ペンネームでもいいので、名前を入れてもらってファンが増えると思います。学習指導要領に「生きる力」が大切とありますが、まさに新聞を読めば養えます。影響力のある人が、もっと「新聞読んだ方がいいよ」と周囲に伝えてほしいですね。

編集日記に「推し記者」

福島民友新聞は毎朝、父から兄そして私という流れで読みます。朝食を食べながら、1面から見出しを見てページをめくり、興味のある記事に目を通します。学校から帰ってきたら大事だと感じた残りの記事をつくり読みます。夕食時、家族で読んだ記事の話題に議論することもあります。幼い頃から家に新聞があり、狭い地域の人間模様を読み取って面白いです。

父との思い出

相馬市 森 由香子さん(62)

新聞といえば高校まで住んでいた実家で交わした父とのやりとりを思い出す。その頃の私は、世間で話題になっている出来事に疎く、分からないことがあると父に説明してもらっていた。そのとき、父はいつも「新聞を読まないからだ。読めば、世の中のいろいろなことが分かるようになる」と読むことを勧めた。父は、そんな私に「この部分、読んでみろ」とよく新聞を見せることがあった。「面倒くさいなあ」と思う時もあったが、その場で必ず読んで父に返した。「もう読んだのか？ちゃんと読んだのか？この記事をどう思う？」と必ず確認してきた。私は、いつも「読んだよ」と答え、短く感想を伝えた。父は、未熟な私に注意喚起として、生活の知恵として、反面教師として、記事を材料に世の中のことをいろいろと教えてくれた。今でも、その時に父から教わったことは覚えているし、肝に命じていることもある。もうこの世に父はいないが、今でも私の人生に生かされている。

苦は楽の種

福島市 叶内 寛之さん(46)

現在、社会人25年目、46歳の銀行員です。新入行員時代に、朝職場で新聞を読んでいたところ、先輩から「今日の新聞のポイントは？今日の市況はどうなる？」と毎日質問責めに。うまく答えられないでいると、先輩は「新聞は出勤前に熟読して来い、今から販売店に電話して、配達時間を早めてもらえ」。次の日から早朝の午前4時から2時間、新聞を読む生活が始まりました。

新聞熟読を始めてきた先輩が転勤するまでの3年間、先輩からの質問に備え新聞を読む毎日。先輩が転勤の日によく3年間頑張ったな、新聞を読むことは知識を頭に積んでいくこと。降り始めても最初積もらないが降り続くうちに積もる雪のように知識を積んでいけ。読むのをやめたら雪が溶けていくように知識も消えていくとアドバイスされました。

当時は苦手な先輩でしたが、その日課は現在も継続しています。今は感謝の気持ちでいっぱいです。久々にその先輩と今日の新聞のポイントを話してみたいと思う今日この頃です。

父のトラクター

二本松市 阿部 順子さん(58)

今から17年前のことでした。私の母はガンを患い旅立ってしまいました。まだ74歳でした。父は、その時78歳でした。一番悲しみ、一番寄り添っていたのは、父だったかもしれません。

母が亡くなり、1年後くらいの時でした。民友新聞を拝見しますと、父が畑でトラクターに乗っている写真と記事が載っているではありませんか。母が亡くなった時、あれほど悲しみ、あれほど目を赤くして泣いていた父が、青空の下でトラクターに乗り頑張っている姿でした。民友新聞さんに父は、元気をいただきました。あの時の喜んでいた父の顔を忘れることができません。

そんな父も旅立って14年になります。今はきっと、母と2人で仲良くお話をしながらお茶でも飲んでいることと思います。心から父母へ伝えたいと思います。「ありがとう」。そして何より、民友さんへ「ありがとう」。

思い出の中に

会津若松市 鴨井 喜子さん(78)

新聞の広告で見つけた唐桑半島の宿。おいしそうな海鮮料理にひかれ、夫の運転で出かけました。日頃、山に囲まれた場所に住む私たちにとって海辺の宿は魅力的で、目の前に並ぶ新鮮な料理と地酒に夫は上機嫌。景色も満喫し、帰宅してからも広告を見ては思い出話をしていました。そんな時、東日本大震災が起こりあの宿の広告が消えました。予想もしないことが起こったのです。

どのくらい経った時でしょうか、あの宿の広告を目にしました。新しい外観にほっとし、二人には忘れられない思い出になりました。

投稿を考え病と闘う

二本松市 土屋 博さん(96)

「検査の結果『進行性悪性リンパ腫』である。このままでは約半年で全身転移だ」の宣告を受け、病室の関係などから医大病院ではなく郡山の病院に入院した。平成30年1月のことである。

「もう充分生きた。後悔なし」と強がってはみたものの、入院してみるとついつい暗い思いばかりが頭をよぎるのだった。これではいかぬとこの病を基に投稿文を考えることにした。

「あえて文体が暗くならぬように」「今、私の体の中では戦争？が起きている。」とそんな書き出しで、わざと戯文調の闘病文を「窓」に投稿した。幸いに3月半ばに掲載された。かみさんに怒られたが、新旧を問わず多くの知人友人から懐かしき声や励ましをもらったのである。

それは私の大きな闘病の支えになったのであることは言うまでもない。なお、病は薬石効あり5月末に退院できたのである。

高校入試発表

会津若松市 永峯 まり子さん(66)

今から50年くらい前は、県立高校合格者の名前が翌日の新聞に掲載されました。そして親せきや、昔は風物詩でした。

ライバシーにも関わるが、昔は風物詩でした。自分の名前が切りとり、今でも大事にアルバムに貼ってあります。また、友達の名前をみつけたり、高校生活の友人関係に役立てたり、その時の春休みは一番のんきにすごしたおぼえがあります。

その後の先生方の異動発表も、マーカーでしるしをつけています。この頃から新聞に興味を持ち始めたような気がします。古き良き時代でした。

＼気持ち、やる気ももっと熱く！／

HOTにTOHO



すべてを地域のために

東邦銀行



話題を織り交ぜながら書いています。長く続いていると「坪倉の記事だから読む」と思ってしまう人もいます。新聞も「○○○さんの記事が読みみたい」となると思います。信頼のある署名記事を増やすことが読者獲得につながるかもしれません。

多様なメディアが乱立している時代だからこそ、もっと地方に特化した内



福島民友新聞社の各職場を紹介

WORKS 仕事×ひと

かく

〈報道部〉

読者に正確な情報を届ける



福島市政を担当しているため、定期的に市役所を訪れ、取材やネタ集めをしている。

「分かりやすく、正確な情報を伝えられるよう、丁寧な取材を心がけている」。地域の話題やスポーツ、事件・事故、災害など、さまざまな話題を取材し、記事にする報道部。あらゆる分野にアンテナを張り、情報を集め、読者にニュースを届けよう。日々取材に励んでいる。

話題や、新たに始める事業の取材などに対応している。最近では、JR福島駅東口の再開発事業など、大きな話題を取材した。今年の年始には箱根駅伝の取材も経験。「幼少期からテレビで見ていた競技を取材できるのは感慨深かった」と振り返る。

「さまざまな価値観を持っている人と関わることで、視野が広がった」と記者の魅力語る。取材した記事が掲載され、読者や取材対象者から反響をもらうとやりがいを感じる。



報道部
高橋 夏実

Interview

Schedule 1日のスケジュール

10:00 出勤 メールの確認、取材など (取材がない場合は、役所を回ったり、気になる話題のネタを集めたりしている)	16:00 本社に戻り原稿を執筆 19:00 メール確認、 明日の取材の準備を終えて退勤
12:00 昼休憩、休憩後取材へ	

ひろめる

〈デジタルメディア室〉

デジタルで新たな価値創出



デジタル
メディア室
高橋 直希



記事の閲覧数を増やすためにさまざまな工夫を重ねる

「新聞だから紙」にこだわる時代ではない。ネットニュースや動画、音声メディア、SNS(交流サイト)など、さまざまなツールを駆使して福島のニュースや情報を届けたい」と多様な発信方法を模索する。

デジタルメディア室の朝は早い。早番担当は午前7時に出勤し、朝刊記事をネット用に加工して福島民友ニュースサイトに公開。ヤフーやLINE(ライン)などの外部プラットフォームへの配信も行う。デジタルならではの価値を生み出したい。掲載の先には新聞社の未来像がある。

Schedule

1日のスケジュール

7:00 出勤 写真と記事データをデータベースから抽出し、ニュースサイトに公開。ヤフーやLINEへの配信を行う	12:00 社内の各部署から受けたニュースサイトへの情報公開や動画作成などを行う。外部プラットフォーム運営会社などとのオンライン会議も午後が中心	15:00 退勤
--	--	----------

つくる

〈編成部デザインラボ〉

紙面に新しい魅力吹き込む



パソコンで紙面に使うグラフィックスの制作にあたる

「民友の創刊130周年ロゴの制作を担当し、先輩方の意見を反映しながら進める作業を通して、新聞はみんなで作ることを学んだ」。新聞のレイアウトや見出しなどの紙面制作を担う編集局編成部。報道部と並ぶ編集局の中核に、2022年、デザインラボが加わった。入社2年目で、特集面や連載のカットなど紙面のアクセントとなるグラフィックスのデザインを担当。130周年のロゴの制作では、人と人を結びつける水引と絆旗を組み合わせたデザインに仕上げた。



編成部
デザインラボ
阿部 叶葵

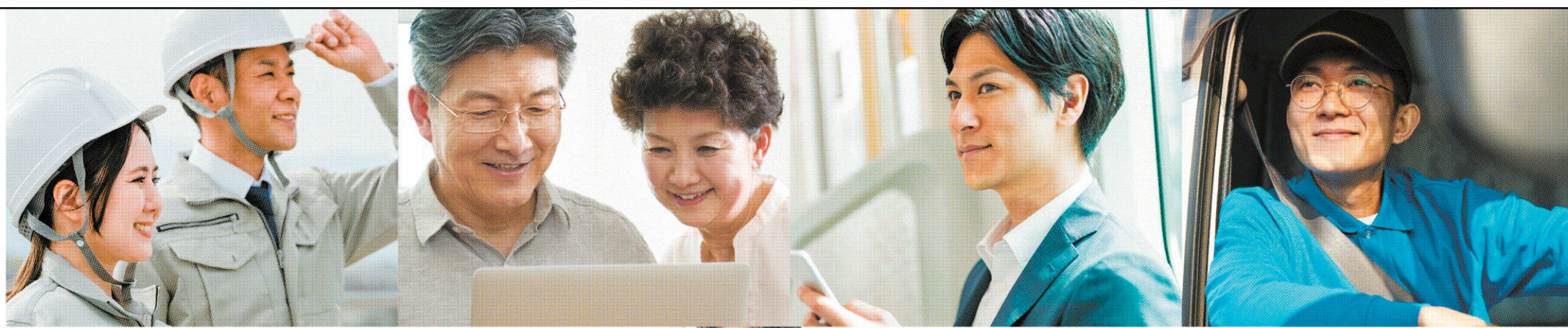
Design

Schedule

1日のスケジュール

11:00 出勤 新聞各紙を読んでグラフィックス研究、メールチェックなど	13:00 休憩 14:00 紙面に掲載するカットの作成や修正など(随時対応)	16:30 朝刊出稿予定チェック	19:00 退勤
12:00 紙面に掲載するカットの作成や修正など(随時対応)			

国内を代表する
“333”の企業が
株価指数に。



ニッポンを
元気にする
株価指数

YOMIURI
333

読者新聞



うごかす

〈事業部〉

参加者の「楽しい」を第一に



イベント当日は準備から運営、スタッフへの指示出し、片付けまで行う(写真は2024年11月に開催した「わんわんウオーク」で受け付けを行う様子)

「参加者の『楽しい』を第一に、最後まで全力で事業をやり遂げる」。ウオーキングイベントや作文コンクール、展覧会など、各種事業の企画と運営を担う。関係者との打ち合わせや現地の確認、後援申請、会場借用などの各種手続き、交流サイト(SNS)への投稿、チラシ作成。一つの事業を運営するために、多くの業務をこなす。

これまで担当した事業の中で印象に残っているのは、昨年5月に開催した「檜枝岐歌舞伎福島公演」。告知やチケットの販売だけでなく、物産イベントも同時に開催した。当日の運営スケジュールや関係者との打ち合わせ、会場準備など難しいと感じることもあったが、大きな経験になった」と手応えを感じる。

チラシのデザインを考えたりなど、部員それぞれが得意分野を仕事に反映させている。企画の内容によるが、自分の興味・関心が高いものを事業にうまく生かしているのは、今年5月に創刊130周年事業も展開する。



事業部 柏倉 南

Schedule 1日のスケジュール

9:30 出勤 メールの確認や 問い合わせに対応	13:30 書類作成・発送 チラシや広報物のチェック
11:30 アポイントのため外出	15:30 事業に向けた関係者とのオンライン会議
12:30 昼休憩(毎日お弁当)	18:30 メールの確認 明日の業務を確認して退勤

とどける

〈販売部〉

信頼築き民友ファン増やす



販売部 大竹 健一郎



販売店との小さな約束ごとを守り、積み重ねていくことを大切にしている

県北・浜通りの一部販売店の販売担当として、新聞販売店との橋渡し役を担う。「いざというとき頼りにされる担当員」を目標に、販売店主の話を傾け、販売店との小さな約束ごとを守り、積み重ねていくことを信条にしている。

近年、大規模な自然災害が相次いでいる。新聞配達スタッフの高齢化が進むなか、より安全に、安心して新聞を届けるにはどうすればいいか、震災や大雪、台風といった過去の経験を踏まえ、自問を続けている。

休日には家族と登山に出かけ、山頂からの景色を楽しむ。その充実感の仕事への自信にもつながっている。「販売店は家族のような存在。一緒に民友ファンを増やせば」

Schedule

1日のスケジュール

9:30 出勤 メールチェックや社内打ち合わせ	12:00 昼休憩(出張先でランチ)
11:00 販売店訪問 所長やスタッフさんたちと業務打ち合わせ	13:00 午後は販売店3店で業務打ち合わせ
	17:30 帰社
	18:30 読者向け物販チラシの原稿をチェック 退勤

しらせる

〈営業部〉

魅力が伝わる広告を提案

「地域に密着した地元紙として、福島民友を読んで新しい発見があったと思われるような広告を企画したい」。読者と広告主を結びつけることが新聞広告の役割との思いを持って、福島県内の魅力を伝えたい。

営業部は新聞に掲載する広告や、事業協賛の提案を主な業務としている。商談では分かりやすい説明を意識し、提案内容がイメージしやすいよう過去の事例も紹介。要望にはすぐに対応する。会話には雑談も織り交ぜ、お互いに話しやすい雰囲気づくりを心がける。「掲載した広告に多く



商談の際は事前準備を徹底。分かりやすい提案を心がけている

の反響があり、クライアントから喜んでもらえるやりがいを感じる」と語る。

新聞広告で福島県内の魅力を発信したいと考え、2年前に埼玉県からリターンした。地域の伝統や文化、県内で頑張っている企業や団体などを広告企画を通して応援してい



営業部 田中 吉樹

Schedule

1日のスケジュール

9:00 出勤 部会(週3回。打ち合わせ、進捗確認など) 提案資料準備、メール・FAXなどの確認	12:00 昼休憩(営業先で外食)
10:00 営業活動 クライアント訪問	13:00 営業活動
	16:00 クライアント訪問、広告原稿の作成・出稿、売上入力
	17:30 退勤



月～金
3時50分

4 → 6 時中をふくしまに
シロクジチュウ



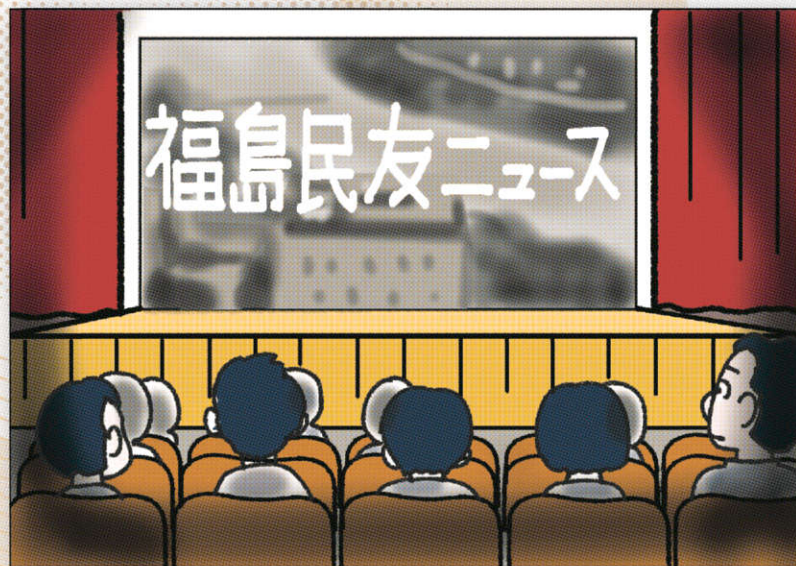
福島の「今」を見つめて 過去から未来へ続く道

HISTORY 福島民友の歴史



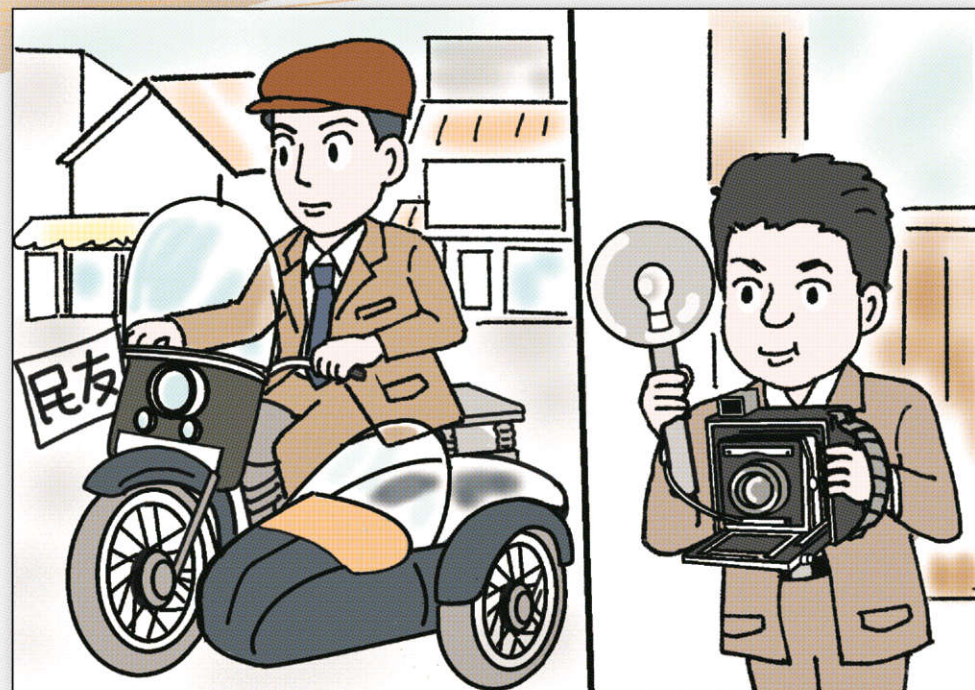
昔の新聞記者

早朝に出勤する県知事を玄関先で待ち受け、夜帰宅した警察署長の自宅に上がり込んで情報を聞き出す。近年は敬遠され気味の「夜討ち朝駆け」と称される取材手法だ。昭和50年代の新聞記者は、アナログな手法で聞き出した情報を手書きの原稿用紙に書いていた。編集局は一日中、たばこの煙でかすんでいた。



映画 福島民友ニュース

県内のニュースや催し物などを35ミリフィルムカメラで撮影し、映画館で上映した。『全国初のローカルニュース映画』と銘打ち、毎月新たなニュースを届けた。県内各地の公民館や学校に貸し出された16ミリフィルムも、人気を集めた。昭和28年から47年にかけて製作された民友ニュースは208本に及んだ。



昔のカメラなど機材

昭和30年代まで新聞社のカメラマンが使っていた「スピードグラフィック」カメラ。シャッタースピードが速く、動きが速い被写体にも対応できた。暗い場所での撮影に使ったのが「フラッシュバルブ」という発光電球で、1枚撮影することに電球を交換する必要がある。自動車が少ない昭和20年代には機動力に優れたサイドカー付きバイクも使用していた。

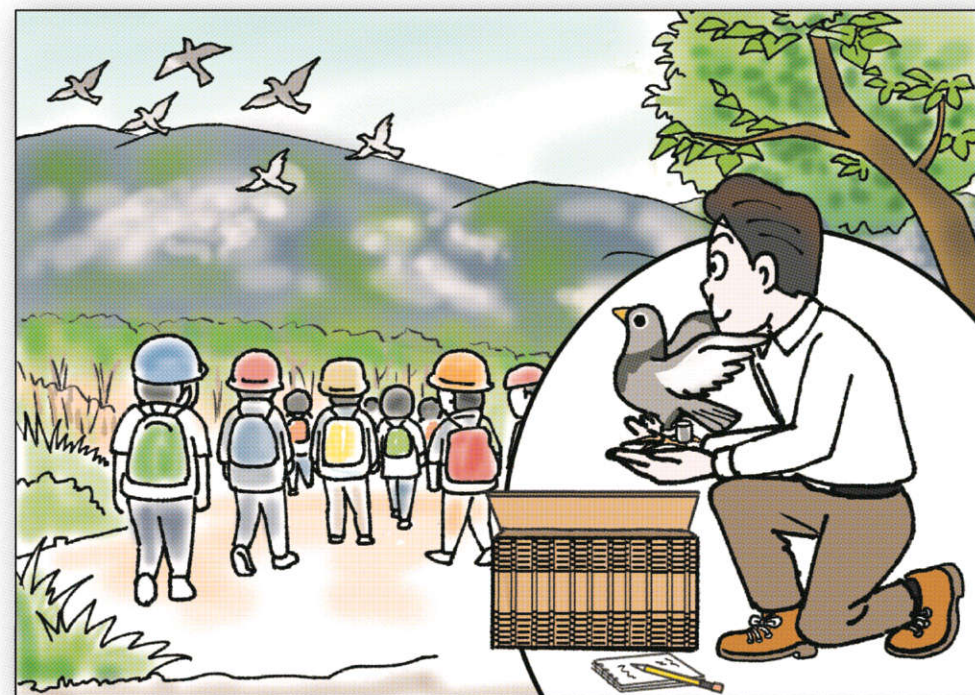


日本新聞博物館に
展示されているス
ピードグラフィックカ
メラ(同博物館提供)



鉛活字時代

昭和50年代後半まで、新聞は金属の活字で作っていた。編集局から回ってきた原稿を見ながら、文選担当者が活字を「拾い」、見出しや紙面の形に組み上げる。形も左右も反転している活字を素早く選んで組む技術は、まさに職人技だった。現在の本社には当時の鉛活字が保管されている。



伝書バト

交通手段が限られていた昭和20年代。遠隔地から記事原稿や写真を送るために使われた。本社の屋上に鳩舎を作って社員が飼育し、取材に同行する際は柳丁李やなぎとうりに入れて運んだ。速報性の向上に寄与したが、写真電送機の導入に伴い役割を終えた。



本社社屋の屋上に設けられた鳩舎
(昭和20年代後半)



從軍記者

緊迫する最前線取材する従軍記者。福島民友新聞社も昭和12年、徐々に本格化する日中戦争の現場に記者を送り込んだ。若松歩兵六十五連隊が600人以上の戦死者を出した上海郊外の激戦取材した記者は重傷を負って帰国した。



県下郡市対抗駅伝競走

昭和21年から48年にかけて行われ、県庁までのコースで行われた第1回大会は、男子チーム133人。5時間39分35秒で信濃市が優勝。第4回大会から県縦断駅伝競走と改題。このときも「民友駅伝」「中通り駅伝」などの

[illegible]



HAMADORI KOTSU



セーフティーマークは「安心」と「信頼」です。



企画手配
観光旅行

研修
視察

学校行事
クラブ活動
子供会

各種送迎

冠婚葬祭

イベント
大規模
輸送

地域と共に歩む… 総合生活産業として、地域に貢献いたします

貸切バス・ご旅行・ツアー等、お気軽にお電話・ご相談承ります。

浜通り交通株式会社

【いわき営業所】 福島県いわき市自由ヶ丘37-10 Tel.0246-88-1788
 【榑葉本社営業所】 福島県双葉郡榑葉町大字波倉字原153-2



New Release

さまざまな取り組みをおこなひながら、地域と共に歩み続けます。

いわせカーボンニュートラル
社会連携共同講座2024

子ども参観日

第8回燃料電池教室

第11回消防ポンプ車寄贈・
組校乗車伝達式

常盤病院DMATカー納車報告会

東洋システム株式会社
TOYO SYSTEM CO.,LTD.

横浜事業所 豊田事業所 大阪営業所
豊田評価センター（愛知県豊田市）
関西評価センター（滋賀県彦根市）
TOYO SYSTEM USA, Inc.（アメリカ・オハイオ州）
本社 / 972-8316 福島県いわき市常盤西郷町銭田106-1
TEL0246-72-2151 FAX0246-72-2152

WEB
完結

ご来店
不要

つかいみち自由!

だいとうフリーローン

「だいとうフリーローン」は、ニーズによって
いろいろな資金計画にご利用頂けます!

様々な出費などをまとめてお借り入れされた方や、
他行・他社の借換をされた方にお勧めの
フリーローンです。

旅行に

車に

趣味に

子供に

大人に

詳しくはホームページでご確認ください

だいとうフリーローン

◎使いすぎにご注意の上、計画的にご利用ください。

◎お申込みの際には、必ず貸付条件を十分ご確認ください。

<https://www.daitobank.co.jp/personal/loan/free/>

(2025年4月1日現在)

大東銀行

私たちは常に最高の品質をお求めます。どうぞ、ご安心ください。



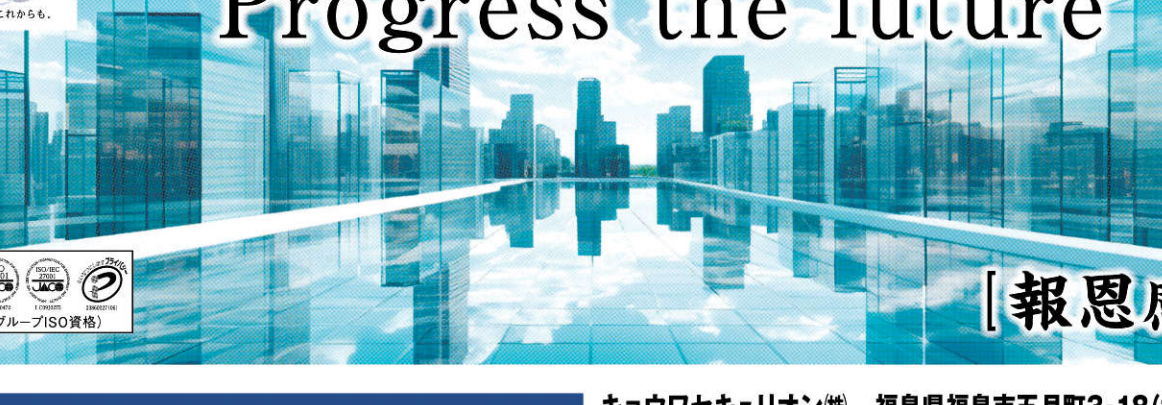
60th
創業 1954年
設立 1964年

グループ本部
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

全国に翔たくキョウワグループ

Progress the future

Security innovator





（キョウワグループISO登録）

[報恩感謝]

グループ各社名

■ ゾーン本部 キョウワグループ本部 東京都中央区東日本橋3-12-11（アヅマビル） 北日本ゾーン本部 宮城県仙台市青葉区中央2-9-27（プライムスクエア広瀬通） 東日本ゾーン本部 東京都中央区東日本橋3-12-11（アヅマビル） 西日本ゾーン本部 大阪府大阪市中央区島之内1-21-19（オリエントルネオビル） 福島本店事務センター 福島県福島市五月町3-20（協和第一ビル）	キョウワセキユリオン様 福島県福島市五月町3-18（協和第三ビル） キョウワプロテック様 東京都中央区東日本橋3-12-11（アヅマビル）
--	---

■ ブロック支社

北日本ブロック 奥州ブロック 東北ブロック 福島ブロック 福島中央ブロック 常陸ブロック 北信越ブロック	下野ブロック 常陸ブロック 埼玉ブロック 千葉ブロック 首都圏ブロック 東海ブロック 遠州ブロック 中京ブロック 京神ブロック 関西ブロック 中国ブロック 四国ブロック 北九州ブロック 南九州ブロック
---	--

全国 136 か所に広がるキョウワグループネットワーク



さらなる安心・安全・快適へ。

kyowa group

TEL.03-5652-0911（代）
 本社：東京都中央区東日本橋3-12-11（アヅマビル）
 本店：福島県福島市五月町3-20（協和第一ビル）
TEL.024-521-0911（代）
<https://www.kyowa-groupnet.jp>

福島民衆新聞など4紙の朝刊や別刷の印刷、發送紙の手がけ、いるふりは「紙面の高品質、より速く、より正確に」を基本方針に、日々新聞を工場から送出している。

入社3年目の影山さんは、印刷作業として印刷機への給紙作業と、カラー紙面の色の調整を担当している。印刷機のローラーの状態によつて色が微妙に変わっていくため、3〜4人のチームで頻繁に検紙して色を確認。変化が均ば、インク量を微調整し、色が揃いになるよう仕上っている。影山さんは「細かい作業だが、自分が調整した紙面きれいにできあがる」とやりがいを感じる」と笑顔で話す。

夜勤が中心のため、日々の体調管理が欠かせない。仕事に支障が出ないよう、普段から健康

ミノリ (郡山市)



印刷された紙面の色を確認する影山さん。色に変化があれば、インク量を微調整して色が均一になるように仕上げている



ミナリ
影山 光祥さん

品質の高い新聞を届けたい

管理を行っている影山さん。「読者に品質の高い新聞が届くよう、今後も技術を磨いていく」。影山さんらの思いが、きょうも新聞となって読者のもとへ届く。

株式会社ミノリ
郡山市待池台2-60-2
TEL 024-963-2210



あん りつ
安立運輸（東京都）

安立運輸は福島市と郡山市に営業所を設けて深夜から朝方にかけて県内の新聞販売店に福島島民新聞を運んでいる。福島営業所を統括する山田文宏所長は「誤配や交通事故への注意を怠らない」。

「私も昔は新聞輸送の運転手で、大きな事故も経験した。これまで教訓に従業員に共有して、同じことがないように日々伝えている」と語る。

日頃の声かけに加え、効率的な運行管理システムを導入で、誤配やテーマの導入で、事故は大幅に減少した。目標掲げるのは信頼だ。

「安全で確実な運行を続け、新聞社・印刷工場・販売店、そして読者から頼られる存在でありたい」



山田所長は日頃から従業員に声をかけ、体調チェックや交通事故への注意を呼びかける



安立運輸福島営業所長
山田 文宏さん

信賴の運送会社へ

安立運輸株式会社 福島営業所
福島市南矢野目字桜内31-3
TEL 024-555-6443

[illegible]

東北税理士会福島県支部連合会

会 長 鈴 木 武 雄

副会長 松 浦 敏 幸 副会長 堀 江 正 喜

副会長 上 杉 雅 明 副会長 猪 狩 堅 一

事務局／福島市森合町14-29 福島県税理士会館内 TEL(024)534-3907

あなたの、あしたを、あたらしく。

福島 創価学会

〒963-0725 郡山市田村町金屋字下刈川原84番 福島文化会館
TEL(024)941-4811 FAX(024)941-4812

GRAND PARK HOTEL
EX

**グランパークホテル
エクセル福島恵比寿**

TEL.024-533-4166

〒960-8051 福島市豊根町10-6 福島駅東口徒歩4分
<https://www.grandpark-ex.jp/fukushima/>

住まいと暮らしとDIY。



株式会社 ダイユーエイト

本社／〒960-8151 福島市太平寺字堰ノ上58
TEL024-545-2215 FAX024-545-2495

<https://www.daiyu8.co.jp/>

BD
BorderLess Designs

Internet
Design
TV-CM
Architecture
Signboard
Marketing
& More

株式会社ボーダレスデザインズ

電気代高騰に
耐えられない方に
特報

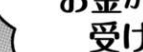
一戸建ての方限定、これから太陽光発電を導入する方！

中部電力ミライズ×ソーラーポスト

カテエネソーラー

中部電力ミライズから売電10年間分を一括前払いで必ずいただけます！

**100万円前後の
お金がまとまって
受け取れる！**



サステナブルな暮らし エコでスマイル

株式会社 ソーラーポスト

SINCE 2000

デラテ家庭用蓄電池Powerwall協定販売株式会社

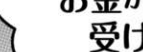
クイナ イ コンナ ヨ イ

0120-91-5741

フリーダイヤル

〒960-8204 福島市岡部字大蔵52-3

詳しくは中部電力の
HPをご覧ください



<http://solar-post.jp/>

自販機サービスのことなら
すべて当社へ !!

株式会社 サン・バンディング 福島

代表取締役 千葉 政行

■本社 〒960-0231 福島市飯坂町平野字平田1-7
TEL(024)542-4440 FAX(024)542-4463

■米沢営業所 〒992-0003 米沢市窪田町東谷地215-1
TEL(0238)37-5056 FAX(0238)37-5215

ORPHIS FT5430 リンググラフ・OA機器・備品・教材
有限会社 水野教材社
リソーシステム

本社/須賀川市大黒町211 TEL.0248-76-4177 郡山/郡山市安積町4丁目111 TEL.024-946-5321
 福島/福島市昭和22カブツ町 TEL.024-531-8139 白河/白河市東田辺町1丁目435-21 TEL.0248-22-8392

福島未来を
支えてまいります



櫻井運送 (福島市)

櫻井運送は福島市を拠点に、福島民友新聞を印刷工場から県内各地の新聞販売店に届け続けている。新聞輸送の歴史は40年以上で、生花や青果の輸送とともに現在も事業の中心を担う。

櫻井誠社長が今も思い出すのは、東日本大震災直後の対応だ。道路が壊れて目的地にたどり着けなくても、最寄りの販売店まで新聞を運んだ。ガソリンが足りなければ、新潟県まで給油に向かった。困難に直面しながらも、トラックを休まず走らせた。

新聞を運ぶ使命感



櫻井運送 社長 櫻井 誠さん



新聞輸送を始めて40年以上。現在は46人のスタッフによって新聞を販売店に毎日運んでいる

有限会社櫻井運送
福島市飯坂町湯野字暮坪24
TEL 024-542-4664



飯岡新聞店 (福島市)



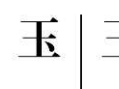
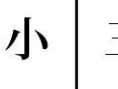
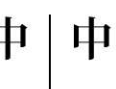
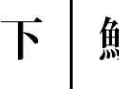
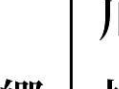
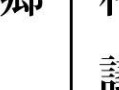
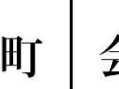
正確な時間、正確な場所に新聞を届けることが販売店の基本。飯岡代表は配達スタッフに対し、ミスがないように日々声をかけている

飯岡新聞店 代表 飯岡 賢さん



読者と向き合い 誠実に対応

有限会社飯岡新聞店
福島市太田町4-7 TEL 024-533-3088

 石川町議会		 石川町議会		 玉川村議会		 玉川村議会		 平田村議会		 平田村議会		 浅川町議会		 浅川町議会		 古殿町議会		 古殿町議会		 三春町議会		 三春町議会		 小野町議会		 小野町議会		 西郷村議会		 西郷村議会		 泉崎村議会		 泉崎村議会		 中島村議会		 中島村議会		 矢吹町議会		 矢吹町議会		 棚倉町議会		 棚倉町議会		 矢祭町議会		 矢祭町議会		 塙町議会		 塙町議会		 鮫川村議会		 鮫川村議会		 下郷町議会		 下郷町議会	
富岡町議会		富岡町議会		川内村議会		川内村議会		大熊町議会		大熊町議会		双葉町議会		双葉町議会		浪江町議会		浪江町議会		葛尾村議会		葛尾村議会		新地町議会		新地町議会		飯館村議会		飯館村議会		福島県信用金庫協会		福島県信用金庫協会		福島県中小企業団体中央会		福島県中小企業団体中央会		福島県行政書士会		福島県行政書士会																					
組合員一同		組合員一同		佐久間 信幸		佐久間 信幸		佐川 伸雄		佐川 伸雄		満田 盛護		満田 盛護		福島市議会		福島市議会		赤塚 英夫		赤塚 英夫		戸川 兼一		戸川 兼一		宮本 政範		宮本 政範		富岡ロータリークラブ		富岡ロータリークラブ		福島県旅行業協会		福島県旅行業協会		福島県印刷工業組合		福島県印刷工業組合																					
福島県生コンクリート工業組合		福島県生コンクリート工業組合		福島県配電盤工業会		福島県配電盤工業会		福島県味噌醤油工業組合		福島県味噌醤油工業組合		福島市エコエリア協業組合		福島市エコエリア協業組合		福島市議会		福島市議会		赤塚 英夫		赤塚 英夫		戸川 兼一		戸川 兼一		宮本 政範		宮本 政範		富岡ロータリークラブ		富岡ロータリークラブ		福島県旅行業協会		福島県旅行業協会		福島県印刷工業組合		福島県印刷工業組合																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八																					
福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市本町五十八		福島市																																													

How to read 新聞の歩き方



【著作権表示】

©マークは福島民友新聞社の著作権であることを示しています。

【発行所】

福島民友新聞社が発行所であることを示しています。

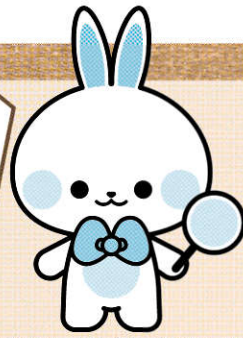
【題字】

創刊以来、縦組みでしたが、1997(平成9)年4月1日に横組みを採用。カラー化して親しみやすくなりました。

【号数】

1895(明治28)年5月20日の創刊第1号から、本日まで発行した号数を表示しています。いわば新聞の年齢で、「紙齢」とも呼ばれます。

福島民友を楽しむために



みんなのデジタルアーカイブオリジナルキャラクター

みんなのデジタルアーカイブオリジナルキャラクター

新聞を楽しむ読むことは、興味のない記事をとんと飛ばして、好きな記事から読み始めることです。新聞は20ページ以上あり、文字数が小説1冊分に例えられることもあります。全て読むのは大変な作業です。

ではどうしたらいいか? 野球やサッカーが好きならスポーツ面、事件・事故の情報を知りたいなら社会面の記事をそれぞれ「拾い読み」するのがお勧め。毎日読んでいて、習慣化されて読むスピードが次第に速まり、他の記事も読む余裕が出てきます。

時間がないけど、色々な情報が知りたい、という人には、見出しや記事の前文を見る方法があります。要点がまとめられており、効率的に情報が得られます。新聞を読めば世の中の動きが分かり、世界の見え方も変わってきますよ。

【版数】

7版、8版、9版の表示があります。数字が大きいほど遅い時間のニュースを盛り込んでいます。

インデックス

紙面の主な内容を紹介しています。写真も使い、見やすい工夫を凝らしています。

写真説明

写真の内容や背景、意図などを説明しています。絵解き(えとぎ)とも呼ばれます。

天気予報

ひと目で県内の天気を把握できます。



【編集日記】

経験豊富で文章力に優れたベテラン記者によるコラム。ニュースや話題などから感じたことを執筆しています。

【ハローキティのニュースを探せ!】

その日の紙面を読むと答えが分かります。答えを探しながら毎朝読んで、頭の体操に役立ててみては。

【見出し】

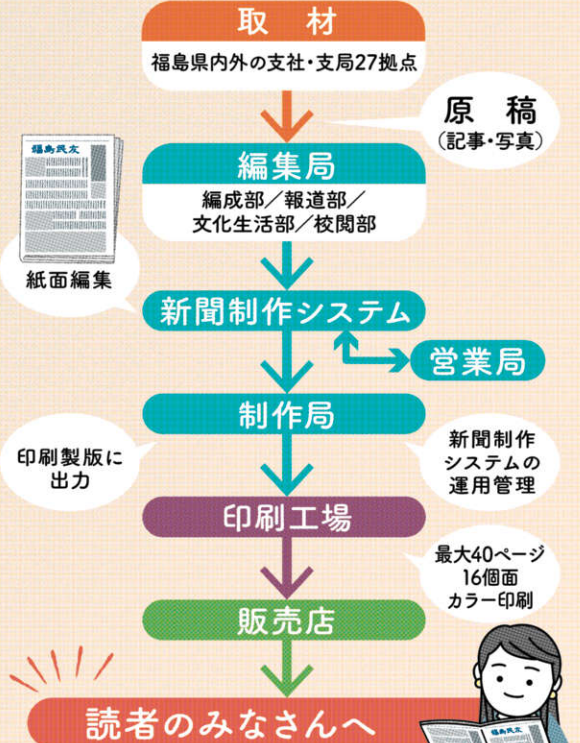
記事の内容を一目で伝えるために、見出しを大きくしています。見出しだけで、記事の概要が分かります。

記事の内容を理解しやすくするために、見出しを大きくしています。見出しだけで、記事の概要が分かります。

前文と本記に分かれており、冒頭にある前文は記事の内容を要約した数行の文章です。ここを読めば、記事の概要が分かります。

1段12字が基本。大きくて見やすい「F」型文字を中心に、8種類の文字を使い分けています。

福島民友ができるまで



二つの電子新聞

福島民友新聞社は、スマートフォンやタブレット、パソコンから記事を読むことができる二つの電子新聞サービスを提供しています。

■みんなのプラス

本紙を定期購読されている方ならどなたでも利用可能(同時アクセス数2)。直近7日間の紙面を閲覧できます。追加料金はありませんが、会員登録が必要です。問い合わせ=読者センター(電話024-523-1230、平日午前10時~午後5時)

■みんなのデジタルアーカイブ(愛称:みんなのみるもん)

法人・団体向けの有料サービス。1899年以降の紙面を閲覧できます。小中学校、高校が月額5,500円(同時アクセス数50)、企業、自治体、公共図書館、大学、高専が月額22,000円(同1)。問い合わせ=事務局(電話024-523-1459、平日午前10時~午後5時)

Pick Up



福島中央テレビと連携した育児に関する企画。子育て世代が感じる大変さ、悩みを深掘りして解決策を探ります。

小学生向けのニュースや時事問題のほかに、記事を使ったワークシートなどを毎週火、木、土曜日に掲載しています。

福島が誇る発酵文化に焦点を当て、発酵食品や料理を紹介。『ふくしまフレンドC』に合わせて掲載しています。

福島をより立てようと頑張っている人たちの生き方を紹介します。12回にわたる連載で、その人の半生に迫ります。

戦争を経験した世代が減少する中、語り継ぐ重要性は増しています。平和な社会の実現を望む県民の思いに迫ります。

REC

見つけて! 福島

動画コンテスト

今年のテーマは「信夫山」

福島市のシンボル「信夫山」の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。動画で表現してみませんか? 現在、作品募集中です。

主催 一般財団法人 ふくしま未来研究会

お申込み 見つけて! 福島 動画コンテスト事務局

お問合せ mitsukete-fukushima.com 公式WEBサイトからエントリー

Asahi

冷やすほどにキレ冴える、辛口〈生〉

SUPER "DRY"

Asahi 生

スーパードライ

福島民友新聞 創刊130周年、おめでとうございます!

ビールストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。ほどよく、楽しく、いとお酒。のんだあとにはリサイクル。すべては、お客様の「うまい」のために。アサヒビール株式会社

AI時代の今だからこそ新聞を読もう

Q インターネットと紙の新聞の違いは。

- A
- ネットでは検索すると、似たような記事が無数に出てくる。どこまで信じたいかわからないし、リンク先からほかの情報に飛びついてしまう。読んでいるときはたくさん情報を得られたように感じるが、実は記憶にはあまり残らない。
 - 新聞は限られたスペースに端的な文章と写真、図表、解説などが掲載され、何をどこまで読むかはっきりしている。読み手は限られた内容を頭に入れ、意味をよく考え、家族やほかの人と話すことで自分の意見、考えを形成し、言語能力や思考力を刺激するなど、教育面での効果が高い。
 - 新聞は広げると、ひと目でいろいろな記事が目に入る一覧性に優れ、そこから自分が主体的に読みたい記事を読むという行為が認知の力を高めてくれる。
 - ネット上には同じようなデザインの見出しが並ぶが、新聞は記事内容に合わせてデザインを工夫するなど、ネットにはない特徴で存在価値を高めている。



脳の働きに好影響

「なぜ今、新聞なのか」。人工知能(AI)が普及し、インターネット上に本当もうそも入り交じった大量の情報が飛び交う時代に、言語脳科学などを研究する東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授は、新聞が「読む力、考える力を養ってくれる」と断言する。酒井教授に、新聞を読むことが脳の働きにどう影響するか、子どもの教育面でどう効果があるのかなど「AI時代に必要な新聞の力」を聞いた。



きれいにレイアウトされた情報が載った新聞の内容は頭に残りやすい



東京大学大学院総合文化研究科
酒井 邦嘉教授

さかいくによし 1964年東京都生まれ。東京大理学部卒、同大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。同大医学部助手、ハーバード大医学部リサーチフェロー、MIT言語・哲学科客員研究員を経て現職。著書に「言語の脳科学」(中央公論新書)、「脳を創る読書」(実業之日本社)、「デジタル脳クライシス」(朝日新書)など多数。

(2枚のイラスト おだれいこ)

Q 動画が世の中にあふれている。映像や音声と比べ、新聞など文字で情報を得る場合、脳の働きの違いは。

- A
- ニュースなどを解説する動画が増えているが、解説する人物の人となりなど目で見る情報、言葉のイントネーションなどの音声情報など、情報量が多すぎて肝心のニュース内容が頭に残りづらい。
 - 動画は受け身で視聴することになり、思考が停止しやすい。自ら情報を得ようとしなくなり、記憶に定着しにくい。

Q 文章や画像を瞬時に作る生成AIの利用が進んでいる。脳の働きにどう影響するか。

- A
- AIは脳を使わないで済ませる技術。子どもたちは作文を書く時にAIに依存してしまうし、大学生もレポート作成で使った結果、文章力や思考力、そして創造力まで衰えてしまう。
 - AIに何か意見や質問をした場合、否定するものは出てこない。違う意見に触れず、心地よく、自分に都合の良いものばかりで中毒性が生まれ、危険な状況に陥る。
 - 社会には多様な人がいて意見が違ふことを受け入れられなくなる。今、世界中で自国優先主義による分断が生まれているが、AIがそれを加速させるのではないかと危惧している。

Q 生成AIを「賢く使おう」という声をどう思うか。

- A
- AIは脳を使わせないで済ませる技術なので、教育現場にできるだけ持ち込まない方がいい。
 - 例えば言葉で希望するイラストを書いてほしいと指示すると、一見良さそうなものを示してくれる。AIは表面的には優しく友好的に見えるが、相手の心や意図を推理、想定している訳ではなく、対話のまねをしているだけ。
 - 示される答えも出所不明の情報をAIが加工している可能性があり、真偽不明な情報も含んだ答えを出すことにちゅうちょすることもない。まるで人間の言葉を操るモンスターのようだ。

「想像力」「創造力」高まる

Q 新聞を活用すると、子どもの教育にどのような効果があるか。

- A
- 言葉に関する言語力だけでなく、「想像力」と「創造力」が高まる。
 - 新聞を読むことは国語だけでなく、あらゆる教科に通じる力が身につく。社会科であれば物事の背景を読み解く力が身につくし、体育で一流スポーツ選手がトレーニング方法を紹介する記事を読めば、何をすれば自分が上達できるか考えることができる。
 - 子どもたちが、きちんとしたものの考え方を身につけることができる。
 - 子どもたちが、人助けをしたなどの記事を読めば、何が大事か考えてくれて、倫理教育にもつながる。

Q AI時代に必要な新聞が持つ力とは。

- A
- 新聞は、記者が確実な情報を得るために、実際に人に会い、資料を調べ、本当なのか丁寧に裏取りして記事化している。
 - 福島民友新聞など地方紙は、地域の上質な情報を取材して、みんなに読んでほしい記事伝え続けている。その信頼性をもっと多くの人に知ってほしい。
 - 脳を育てるには、脳を徹底的に鍛えることが大事。AIの利用を規制し、新聞や紙の本を読むことから始めてみよう。一つの記事を最初から最後まで読むことからでも、やり抜く力が身につく。



AIに宿題やレポート作成を頼み続けると、自分で考える力が失われます










頑張るママ、パパの素敵なえがおへ

エールを贈ろう!

マドレボニータとは

マドレボニータでは、「産後」に特化したヘルスケアプログラムを開発し、子どもを迎えたご家族が心身ともに健やかに人生を送れるようサポートしています。



あなたも

《エリエール商品を買って、ママパパを応援しよう》

対象期間：2025年 **4月25日(金)**～**6月30日(月)**

期間中「アカチャンホンポ」にてエリエールブランド商品をご購入いただくと、その売り上げの一部を、子どもを迎えた家族へのサポート活動を行う認定NPO法人「マドレボニータ」へ寄付いたします。

対象商品



のマークが目印



売上の一部を寄付



思いを込めて購入





© Disney
© Disney. Based on the "Winnie the Pooh" works by A.A. Milne and E.H. Shephard.
※掲載商品は一例です。※店舗によって、取り扱いのない商品もございます。

大王製紙株式会社

木から生まれた牛のエサ



この夏は絶対あきらめない!

乳脂肪

- ◎国内製で安定供給
- ◎高エネルギーのセンイ
- ◎消化が緩やか

今から
備えて

アツプ
を目指す!

木から生まれた
牛のエサ



消化率向上

乳成績向上

繁殖成績改善

健康維持

ユーザーさま*から
ご評価をいただいています

*酪農家様、繁殖農家様、肥育農家様、TMRセンター様

夏のお悩み「乳脂肪率の低下」対策に、木から生まれた牛のエサ「元気森森®」。

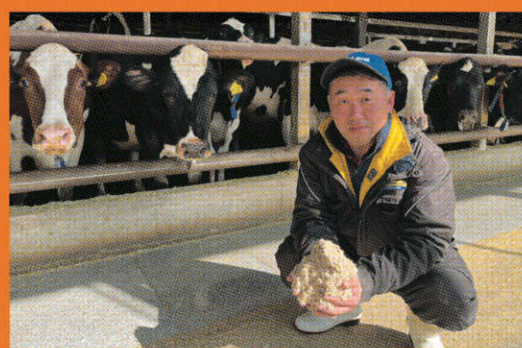
実際にご利用の酪農家様たちから
「キープできた」「乳脂肪率が向上した」
との、お声が届きはじめました。

実際の
導入事例



元気森森®で、実感続々!

佐久間牧場さま(福島県双葉郡葛尾村)



繁殖成績もアツプして
効果を実感しています

2021年5月、乳脂肪率が下がりやすい時期に元気森森®を育成牛と成牛に給与したところ、乳脂肪率は平均3.75%から3.99%に上昇。その後も高水準を維持し、乳脂肪用の単味飼料の給与を中止しても夏場に平均3.87%を確保しました。繁殖面でも夏場の発情が活発になり、約10頭が出産。元気森森®は高エネルギーかつ消化が穏やかで、ルーメンへの負担を抑えながら効果を発揮したと考えられます。

山本牧場さま(栃木県矢板市)



「元気森森®」で乳脂肪上昇!
夏場でもキープ!

2022年8月から元気森森®を1頭あたり1kgで給与開始。乳脂肪対策として乳脂肪用の添加剤を併用していましたが、1か月で乳脂肪が大きく上昇しました。2ヶ月目に2kgへ増量し乳脂肪用の添加剤を中止しても乳脂肪は安定。3ヶ月目には3kgに増やしましたが、夏場でも乳脂肪は下がりず、食いつきも良好だったためルーメン環境を整える添加剤も段階的に中止。現在も3kgの給与を続けており、効果は持続しています。

この夏に向けて、わたしたちと二人三脚で、乳脂肪対策に取り組んでみませんか?

まずは!

テスト用サンプル
ご協力します! ▶▶▶

実際に使って効果を実感してください!!

お気軽に
お問合せ
ください

TEL.03-6665-1020
FAX.03-6665-0337



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6(御茶ノ水ソラシティ) バイオマスマテリアル販売推進部

日本製紙株式会社